

令和2年度 第2回太田市公共事業入札等監視委員会 委員コメント

小川委員長

新型コロナウイルス流行の最中で、慎重なご配慮のもと本年度第二回の委員会を設営いただきましてありがとうございました。来年度開校に向けて工事中の市立北の杜学園建設の工事発注について、入札辞退により不調となったこと、またその後の発注方法の見直しによる人員配置や工期の配慮などの取組みを伺いました。建築工事が工期・人員配置や採算の点で不調となる傾向があった中で、今後も活かせる工夫ではないかと思えます。

運動公園の体育館も控え、ここ数年、大型の建設工事が続いています。引き続き、適正な発注と監理をお願いしたいと思います。

大谷副委員長

令和2年度上半期の入札は適正になされていると思えました。総額では昨年度の約71%と大規模工事の減少により減りましたが、コロナ禍による工事の状況も影響は少ないと思われれます。今回、太田市北の杜学園放課後児童クラブの内容審査があり、現地視察に行っていました。来年度開校に向けて、工事の進捗状況も順調に推移し、小中学校の教育に貢献できる建築になるものと実感いたしました。

今後も、公正性・公平性・透明性を損なうことのない適正な入札執行の徹底を継続して行くことを期待しています。

大島委員

令和2年度上半期の契約件数が259件、担当部署の方々は日々大変お忙しいこととお察し致します。その中でも適正に、そして平等に入札を実施していただいておりますが、本年度より低入札価格調査制度を導入した総合評価方式は実施されていないようです。より一層公平な入札方式を模索していくために、機会や案件を見つつ、取り組んでみていただければと思います。

大澤委員

令和2年度上半期入札契約状況は、比較的大型案件がなく、例年並ということでした。コロナによって、資材の調達困難や、工期の遅れ等心配されましたが、上半期は大きく影響を受けていることはないということで安心いたしました。

現場視察では、設計・建築にかかわる皆様の思いが詰まった素晴らしい学校が建設され、通学する生徒の喜ぶ顔が目に見えました。建物が建つまでに、たくさんの方の思いや苦勞、技術や労力が必要なのだと実感し、とても貴重な体験をさせていただきました。

建設工事の第一段階としての入札が今後もスムーズに行われることを期待いたします。

長谷川委員

今回は、会議ばかりでなく実際の建設現場を視察という大変貴重な経験をさせていただきました。昨今の学校は、勉強をする空間に留まらずメンタルケアを含めた様々な空間構成がされていることに感心しました。また、小学校と中学校の一貫教育という合理的な形に変化していくことに刺激を受けました。私たち企業人も、コロナを言い訳にすることなく変化していかなければと思う経験でした。

公正公平な入札によって適切な業者に発注するシステムがあるからこそだと思いますので、今後も入札のシステムを維持して頂ければと思います。